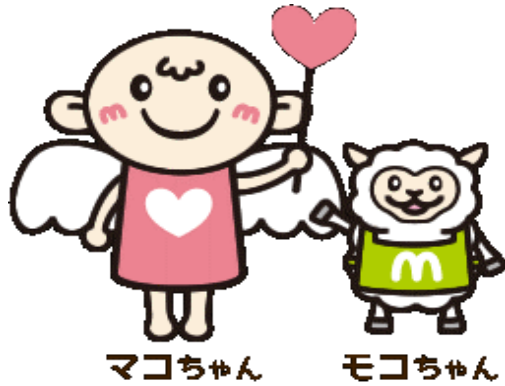


地域連携マイプロジェクト一覧

	分野／プロジェクト名	講師プロフィール	プロジェクト内容
	ビジネス	村井 正浩	★☆☆とまち野菜急便さんが取り組みたいこと★☆☆
1	とまち食材の直送・直売ビジネス実体験 ※5～10名	1972年生 岐阜県出身 1994年 株式会社ロッテ入社 1998年 ハイネケンジャパン株式会社入社 1999年 Schick ジャパン株式会社入社 トレードマーケティングマネージャー カミソリ Schick／洗口液リステリン 2005年 ダノンジャパン株式会社入社 販売企画経営企画シニアマネージャー evian/ Volvic/ダノンヨーグルト ブランド 2013年 アウディジャパン株式会社入社 エリアマネージャー 2021年 株式会社エイコーウェルネス 常務取締役 2022年 株式会社とまち野菜急便 代表取締役	①株式会社ゼットンとの定例会議「北海道食材メニュー開発会議」への参加 弊社と株式会社ゼットンで定例で行っているZOOM会議へ参加しませんか？始めはとまち食材・北海道食材が直送され、どのように活用されているか、直送のメリットはどんなところにあるのか、会議を通じて実際の現場を学びます。後半は高校生からゼットンの統括料理長や料理長にとま치의食材をアピール（その食材が持つ素晴らしいところ）する時間なども設けたいと考えています。 ②2025年夏とまち帯広空港マルシェ（とまち食材直売）イベント企画→実施 2024年からスタートし、2025年夏秋をゴールとして、とま치의食材の素晴らしさを空港利用者にアピールし、来勝者の皆様に理解を深めてもらい、食材を実際に販売することで「流通」の仕事を体験します。2025年8月実施を目標にとまち名産スイートコーンや夏野菜を揃え、1ヶ月限定の中部国際空港便の運航時期を狙います。食材の選定やPRポイント、POP作り、帯広空港管理者「北海道エアポート様」にイベント実施のための交渉準備とプレゼンも予定しています。 【ゼットングループ飲食店】 【 昨年のマルシェの様子 】
2	とまちごちゃまぜアート展 ※5～10名	1985年生 幕別町出身 2004年 障害者福祉施設で働く 2012年 一般社団法人青鳥舎設立 放課後支援施設を経営（十勝3施設） 2022年 BOOK Café&Bar Sen をオープン 2023年 絵本「やっちゃれほっちゃれもっきー」を出版する。絵本作家としても活動中	★☆☆一般社団法人 青鳥舎さんが取り組みたいこと★☆☆ 高校生と一緒に障がいを持った人が携わる作品を展示するアート展と一緒に協力して開催したいです。障がいのある人たちの社会参加の機会を一緒に作りませんか？また障がいのある人となない人の交流を通じて、新たな視点を持ってみませんか？ ①障がいのある子どもから作品の提供を受け、その作品をデジタルトレースし 仕上げる。 ②ワークショップを開催し、共同で作品を作り上げる。 ③イベント開催に向けて資金集めを企画する。 【Book Café & Bar Sen 】※小川さんが経営するBOOK CAFE

3	高齢者福祉	幕別町社会福祉協議会	★☆☆幕別町社会福祉協議会さんが取り組みたいこと★☆☆ 高校生自らが、高齢者サロンなどの集いの場を通じて地域住民の生活に触れ、交流し、よりよい居場所づくりを提案する。つながりや支え合いは、いずれ自分自身が高齢になった時に欠かせないものになることを若いときから考えることが大切です。プロジェクト活動を通した体験を踏まえて、若い世代として住民同士のつながりの大切さを伝承していく機会になってほしいと考えています。 Step 1 学習 つながりや支え合いについて、人との触れあい、居場所は誰にとっても必要であり、高齢になった生活にはことのほか大切になっていることを学ぶ Step 2 参加 町内の地域サロンや住民の集いの場に参加し、課題や新しい構想などを考える Step 3 計画・実行 サロンに参加した感想を踏まえて、高校生として考える集いの場を企画し、「高校生サロン（仮）」を開催する。 Step 4 発言 Step 1～3を通して活動を振り返り、体験したことや学んだことを広く町民へ発信する。
	高校生が運営！ 高校生サロン ※5～9名		
4	地域活性化	谷保 明洋	★☆☆幕別町地域おこし協力隊 谷保 明洋さんが取り組みたいこと★☆☆ 幕別町は帯広勤務の時に出会い、明野が丘公園の魅力、そしてまだまだ利用できる空き施設の多さを含め、この地域の再生の可能性を感じています。プライベートの活動で空き倉庫をリノベーションして地域の交流拠点「Makura Showcase」として整備し、多くの方が訪れ賑わいを創出しています。4月からもう1件空き施設をリノベーションして「幕理」も稼働しています。今後も複数件の空き施設活用が決定しており、少しずつ幕別の町が繋がりと、盛り上がってきています。 また昨年度からスタートした北海道科学大学との連携事業、昨年は幕別のイベントに科学大生が参加、大学祭に清陵高校生が参加して互いに交流しています。今年度も様々な交流や企画を通じて、地域に参画していきませんか？また大学生との交流だけでなく、附属高校との連携事業などを想定しています。高校生による関係人口の創出、次世代の積極的な関わりは幕別町にとっても大きな熱量になると考えています。 ①北海道科学大学、付属高校との連携 ②地域活性化に係わる企画や活動
	北海道科学大学連携 & 地域活性化 ※5～8名	帯広出身 釧路工業高等専門学校（建築学科卒業） 国土交通省北海道開発局営繕部所属 開発局時代は札幌・旭川・稚内・釧路・帯広に勤務 〈帯広勤務時〉 帯広街中活性化に取り組む企業団体ともに、地域創生活動に取り組む。 ★ホテルリノベーション計画 ★馬車B a r の馬車製作 ★TOCACHI ICE PARK 企画運営 その後、札幌勤務となり、週末は十勝に来て活動するなど、2拠点居住をして4年過ごし、令和5年3月に国土交通省を早期退職し、4月より幕別町地域おこし協力隊として「空き家施設対策担当」として勤務している。 	

5	木工	日下 淳志	★☆☆木工工房 ATCOW & M さんが取り組みたいこと★☆☆
	木の魅力 木工プロダクト作り ※3名～4名	北海道新得町出身 釧路工業高等専門学校卒業 地元新得で土木事業に携わる 仕事の傍ら、音楽活動（ベース）を開始 趣味で木工を始める 哲学、武術についても勉強中 現在、幕別本町にて事業開始予定 	現在、幕別本町にて空き家を活用し、新しい工房を立ち上げている途中です。高校生の皆さんには、この工房のスタートアップをお手伝いしていただきたいです。 この工房では、作業場だけでなく、イベントや販売会など様々なことを実施していく予定です。多くの人が楽しめるような空間にするためのアイデアや作業を一緒にできると嬉しいです。また木工でのプロダクト開発を予定しています。 欲しいけど売っていない物を形作り、最終的には店舗での販売会やイベントを一緒に企画しましょう。 【クサカさんの作品の一部】   
6	高齢者福祉	清野 紀子	★☆☆認知症対応型通所介護 STORY さんが取り組みたいこと★☆☆
	季節を感じながら 地域住民の方と 一緒に街を歩こう ※5名程度	会社名 Regional Nurture Co.Ltd 2020年 会社創立 2021年 Home care support office 「Regional Nurture」設立 2021年 認知症対応型通所介護施設「Story」設立  	幕別町には9か所のデイサービスがあり、そのうち2か所が「認知症対応型通所介護」となります。認知症対応通所型の役割は「認知症」を発症しても自宅で過ごしていけるように、身体や頭を使い、病気の進行を緩やかにしていくことです。 経営理念「～ひとりの笑顔がたくさんの人を幸せにする～」 一人一人の笑顔により周りにいる人が自然と笑顔になり、あたたかい気持ちになれるように経営理念が生まれました。 経営目的「～いつまでも学ぶこと、知ることができるライフスタイルを提供する～」 年を重ねても何かを学び、知ることができるライフスタイルを皆さんと一緒に考え、提供していきます。 【プロジェクト概要】 〈キーワード〉「季節を楽しむ」「幕別町」「運動」 □Plan/ 計画 「季節を感じながら地域住民の方と一緒に幕別町のなかを歩こう企画（仮）」 ・アンケート内容検討（「毎日どのくらい歩きますか？」「ひとりだと運動しない」など☑を入れる方法） ・アンケート作成・アンケート配布・収集（初回は対象の公区を検討し、その公区のみ） ・アンケートデータ集計・ウォーキングの距離、範囲を決める（おおよそ往復30分程度） ・ポスター作成・・・ポスター配布・保険確認・水分確認 □Do/実行 ・当日の天候・体調確認（雨天の場合：清陵高校校舎内要相談） ・ウォーキングする前後の皆さんの評価（★）・ウォーキング開始・水分補給 □Check/評価 ・（★）の評価データを取り、ウォーキングすることでどのような変化があったか ・今回のプロジェクトはどうであったか □Action/改善 ・Checkを行い、改善策をあげ、次年度に継続

9	アート	清田 千裕	★☆☆フォトグラファー 清田 千裕さんが取り組みたいこと★☆☆
	アートを身近に まくべつアート研究所 ※5名	1992 年生まれ 東京にてスタジオ勤務 フォトグラファーアシスタントを経て独立 雑誌を中心にポートレート、商品撮影などで活動 2024 年 3 月 幕別町へ移住 本町の空き家をスタジオ兼ギャラリーカフェに現在、リ ノベーション中 10 月中旬にオープン予定 	【 アートを身近に まくべつアート研究所 】 高校生の皆さんには【アート】について、もっと身近に感じ、作品に込められる感情や感性を自身の中に感じてほしいと思います。そうした作業を通じて、自分や自分の周りの人と向き合うことにもつながります。 Step 1 <あなたの好きなアーティストは？アートとは何か？> Step 2 <「まくべつ」をテーマに作品作り（写真・動画・絵画・表現方法は問わず…）> Step 3 自分たちの作品をギャラリーにて展示、その企画と構成を考えます。    
10	本・地域活性	民安 園美	★☆☆幕別町図書館さんが取り組みたいこと★☆☆
	図書館イメージ改革！ 行ってみようかな？ と思ってくれたら ラッキー作戦 ※7～8 名程度	 	皆さんの図書館のイメージはどんなですか？「本好きの人が行くところ」「勉強する人が行くところ」「静かにしなきゃいけないところ」… そんなことはありません！図書館は「誰でもウェルカムな場所」です。あまり知られていませんが、図書館では様々なイベント（ボードゲーム大会、音楽会、スタンプラリー、工作教室など）を開催しています。 【皆さんと取り組みたいこと】 多くの人が図書館に興味を持ってもらったり、交流の場として足を運んでもらったり、最終的に本にも興味持ってもらったり…そんなプロジェクトを考えています。 ①清陵高校とのコラボ「library スタンプラリー!!!」のブラッシュアップ 「本好きではない生徒が図書室に来る」「高校と町民（図書館利用者）が交流できる」取り組みを考えます。 清陵高校の図書委員ともコラボし、図書館との連携をプロジェクトチームに考えてもらいます。 ②スランプリアリーを盛り上げるイベントを企画 イベントの大きさ・時期などはプロジェクトの企画段階で皆さんと考えます！ ※土日祝日に活動することもあります。 ☐ イベント・事業の企画→まずは楽しそう、面白そうと思うのものを考えましょう！内容や時期などは全員で検討して決定します。 ☐ 広報の方法→どの媒体を使うかを検討します。図書館には公式ホームページ、SNS があります。町広報、新聞も活用できます。 ☐ 期間の設定→企画・イベントを実施するにはスケジュールリングが肝になります。情報共有し、計画的に作業を進めます。 ☐ ツールの活用→canva や ZOOM など活用できるものを駆使して実践していきます。

11	リベラルアーツ 地域活性	平林 英明	★☆☆株式会社 エルパソ さんが取り組みたいこと★☆☆
	リベラルアーツ ✕ SDG s ＝ソーシャルインパクト を目指す ※1名～	1945 年生まれ 北海道帯広市出身。 帯広三条高校卒業、卒業後、航空自衛隊航空学生に入隊 国際農友会の農業実習生として渡米。 1973 年 帰国後に自ら出身地である帯広に 「レストラン・エルパソ」を開店。 その後自社のソーセージ工場、帯広ビールを設立。 2004 年 ハム・ソーセージの原料である豚肉を自社で生 産する為に牧場を設立。国内でも少ない放牧養 豚飼育にて自社ブランド豚「どろぶた」を飼育・ 販売。 2014 年 自社の生ハム工場を設立し、自社オリジナルの 生ハムを生産開始。豚の飼育から精肉の加工、加 熱・非加熱食品の製造まで一貫で行う事業を行 っております。  	社会のありとあらゆる問題にさまざまな角度から立ち向かうことができる、それが リベラルアーツの「学び」。世界規模の経済格差や環境問題、情 報の氾濫、偏見や差別、対立や戦争を生み出す異文化間の問題…。現代社会は今、多くの複雑な問題を抱えています。このような問題は、狭い視野 や限定された専門分野だけでは解決することができません。例えば、ある地域で、観光客をもっと呼び込みたいという課題があったとします。その 解決 には何をすればよいのでしょうか。例えば、お金の流れを検証するため経済的観点から分析すること。観光客の増加による環境への影響を防 止すること。地域の良い所をより広く伝えるメディアを選定すること。観光客を呼ぶという目的はひとつでもそれを実現するための考え方は多岐に わたります。しかし、各分野の専門家が集まっても、バラバラに動いてしまっはなかなか解決には結びつきません。 そこで必要になるのが リベラルアーツです。専門を 1 つに絞るのではなく複数の領域を学び融合させることで、実社会の複雑な問題にさまざま な角度から立ち向かうことができる総合力を育てるのです。 Step1:学びの時間 多様な領域の講師陣から学びを聞く。専門を 1 つに絞るのではなく複数の領域を融合させることで 実社会の複雑な問題に様々な角度から立ち向かうことができる総合力を育てる。 Step2：計画作成 1 で学んだことを根底に学生には仮想の街づくりを行っていただきます。仮装であるが、実際に自分 自身が被選挙権を行使して立候補するための公約や町の政策を考え、役場に提出する。 Step3：ジオラマ作成 2 で計画した公約や政策を基にジオラマによる都市開発計画を作成します。 Step4：発表 考えた公約や政策、ジオラマを地域の方々に発表します。  
12	障がい者福祉・教育支援	油谷慶一 / 森田竜二	★☆☆株式会社しんかーず さんが取り組みたいこと★☆☆
	全てのの人に健康と福祉を！ (仮) ※1名～	〈株式会社しんかーず〉 	しんかーずランチは、毎日の食事の用意が難しくなった方、病院から食事の制限を指導されている方、別居中の家族の食事が心配な方、産後の外出・ 調理が難しい方などに、美味しさはもちろん、管理栄養士が栄養バランスに配慮した料理を考えて、毎日昼・夕食日替わりで作りたての料理をお弁 当箱に入れて、1食からでもご自宅まで届けています。 また近年、障害者雇用促進法が制定され、一般企業にも障がいをお持ちの方の 2.0%の雇用が義務付けられました。しかしながら、雇用の需要は 決して多いとは言えず依然として就労は非常に厳しい状況に置かれています。「障がい」はその言葉のまま「害」ではありません。その人その人が社会 生活を送る上での生きづらさを示す言葉です。株式会社しんかーずでは生きづらさを抱える方の雇用を積極的に進めていきます。しんかーずラン チでは配食サービスの提供者となって働くことでサービスを受けるだけでなく、地域の高齢者福祉サ ービスを支える一員となります。株式会社しんかーずの社命は、健康の維持・向上・自立生活の継続 や介護予防・生活習慣病予防に繋がるお客様の健康生活を支え栄養バランスを考えたお食事をお届け すること、そして就労支援をはじめとした地域生活支援事業を行ない、利用される全てのお客様の生 活を支えるお手伝いすることだと考えています。 【プロジェクト概要】※高校生と一緒に考えます！ミーティング後に内容が変更になる場合も有り。 ①清陵高校様の学内弁当販売に向けての企画・販売 ②清陵高校様の学内弁当販売に向けてのメニュー考案 ③スクオーラ帯広校（北海道初の4年制福祉事業型専攻大学）でのボランティア＆交流 （体験したことを発信して頂けたらと思います） ④本社で弁当の配達 → 高齢者との交流・配達業務の体験（配食の必要性を学ぶ） ⑤児童発達支援事業所「ばっぷあっぷ」で障害児童との交流 ⑥教材作りと保育業務の体験 

13	コミュニケーション	宇野 和哉	★☆☆ラジオパーソナリティ うのっち さんが取り組みたいこと★☆☆
	「目指せ・ラジオパーソナリティ～人と人とのつながりの中から発信力を強化せよ!～」 ※5～10名	【経歴・プロフィール】 十勝地区サッカー協会第4種委員長 北海道サッカー協会第4種副委員長 十勝少年サッカー連盟理事長 FM ウイングボランティアパーソナリティ あかしや南1町内会総務部長 アイスホッケーチーム「ボンバーズ」代表 朝野球チーム「SMILE100」代表 音楽ユニット「UNO-A-UNO」ボーカル 元日本製紙クレインズ私設応援団つるっ子マニア代表 元氷都くしろにアイアスホッケーチームを存続させる会副代表 JFA 公認サッカー2級審判員 JFA 公認フットサル2級審判員 JFA 公認マッチウェルフェアオフィサー JFA 公認マッチコミッショナー JFA 公認サッカー3級インストラクター JFA 公認フットサル3級公認インストラクター JSBB 全日本軟式野球連盟公認1級審判員 メディカルアロマ健康管理士 メンタル心理カウンセラー 忠類地区女性学級パソコン教室講師 幕別・札内地区(当時)婦人学級パソコン教室講師 	人と繋がり続けてここまで来ました。多くの人との関わりの中で、多くのことを学びました。現在は幕別町役場で働く傍ら、様々な活動にとりくんでいます。人との繋がりを作っていくためには？人との繋がりから生まれてくるものは何か？これから社会で活躍する高校生の皆さんと一緒に、自分探しをしてみませんか？ Step 1 傾聴、会話の内容分析、トーク(発信力)を中心に ・実践として自己紹介の仕方、相槌の打ち方、傾聴時のアクションの取り方・・・ ・楽しく自分の思いを発信できるスキルを見つけていくものにしたい。 ・講師は自分以外にも おびひろ市民ラジオプロデューサーや現役はパーソナリティのほか、同級生やお友達を中心に各分野のエキスパートの話を聞く感じで・・・ Ex/掛村くん(ビゴラス社長)、松下くん(しんかーず)、及川さん(ちっぷす代表)など Step2 FM ウイングでパーソナリティとして実践・生放送に挑戦する！ 番組の作り方も学びながら、何を話したいか、音楽は何を使いたいかなど実践的なもので考えています。  
14	カラーコーディネート・美容	菅野 美穂	★☆☆Belle Couleur さんが取り組みたいこと★☆☆
	カラーの力 自分の魅力をコーディネート ※7～8名程度	12 年ほどオホーツクで中学校教諭(数学)として勤務 ・カラーコーチ ・CAP スペシャリスト ・ボディメイクアドバイザー ・オーダースーツのフィッター ・元教員向け独立サポート ・音更ふれあい教室「ほっと」、音更ドリームズ 21st 宝来校にパートで勤務	色の持つ力(色彩心理)を使って、大人も子どもも《自分らしく》楽しく笑顔溢れる人生が歩めるように内面や外見を磨くサポートをしています。 〈プロジェクトで実践すること〉 〈内面サポート〉 *カラーセラピー→色を選んで、自分の蓋をしている気持ちに気づく *アルコールインクアート→色を選んで、無心になってアートすることで気持ちの浄化 〈外見サポート〉 *パーソナルカラー診断→自分に似合う色の区分がわかる *メイク→素材を大切にしながら顔まわりを明るくするメイクの仕方 〈その他の実践事項〉 ・色の意味を知る(デザイン、色彩心理) ・好きな色、嫌いな色→アートを通じてどう感じるか ・人の顔色に合う色(メイク、服) ・スタイリストの話が聞けたら良いな～ ※最終目的がまだ定まっておりません。 

15	JA	JA 幕別	★★★JA 幕別 さんが取り組みたいこと★★★
	地域を大切に 「JA 幕別と歩む」 ※1名～		JA の正式名称は「農業協同組合」と言います。十勝管内には 23 の JA があります。皆さんは JA がどんな仕事をしているか知っていますか?JA の仕事は組合員である農家の営農と生活をサポートする仕事です。そしてその仕事内容は多岐に渡ります。 苗や肥料・農作業器具等の販売を行う購買事業、営農指導事業、農畜産物の販売、貯金の受け入れや資金の融資を行う信用事業、生命保険や自動車保険などの業務に相当する共済事業、JA 運営全般・経理・情報システム等に携わる管理業務といった様々な職種があります。 北海道十勝管内は「農業」が基幹産業となっています。十勝の農家によって、日本の食糧事情にも大きな影響を与えるほどの規模です。私たち JA 職員は、こうした農業に係る人・事業のサポートを行っています。農業が盛んな地域において JA はなくてはならない存在です。 JA=農業のイメージが強く、これまで農業に関わりがない高校生にとっては疎遠な印象ですが、地元十勝を支える人材として、JA に注目してみませんか?JA には様々な職種があるため、いろいろな仕事を体験することでキャリアアップを目指せます。 今回のプロジェクトでは ① JA を訪問 ②JA の仕事を学ぼう ③JA で働いてみよう もし、JA の仕事に興味があれば、将来は農家組合員や地域を支える JA 職員となって一緒に働こう！ 
16	???	清陵高校教員	★★★ ★★★★★
	教員プロジェクト…	現在、調整中	現在、調整中